



# 学校だより

4月号

平成31年4月5日  
横浜市立善部小学校  
校長 小澤 紀子



## 初春令月 気淑風和

学校長 小澤 紀子

正門の桜は新年度の始まりを待ってくれているかのように、ゆっくりゆっくりつぼみが膨らみました。これから見ごろの桜に迎えられて、進級した子どもたちの笑顔は満開でした。本日1年生86名を迎え、全校児童485名で平成31年度・令和元年度がスタートいたしました。私が本校に着任した6年前に比べて80名も増え、近年で最高の児童数となりました。一般学級15クラス、個別支援級3クラスです。第6学年は少人数学級研究指定を受け、3学級編制といたしました。

1年生のみなさん、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。これから始まる新しい生活に夢と希望を膨らませていることと思います。と同時に不安もあることでしょうか。一人一人が安心して楽しく学校生活を送れるよう、保護者の皆様と共に考えていきたいと思っています。本校教育活動にご理解・ご協力をお願いいたします。

2年生以上のみなさん、保護者の皆様、進級おめでとうございます。春休みが終わって、新しいクラスの友達と整列する子どもたちは、もうすっかり一つ上の学年の表情になっているようです。1年生はお兄さんお姉さんになりました。誇らしげに手をつないで学校探検で案内してくれることでしょうか。6年生は昨日、入学式や新年度準備のため、登校してくれました。昨年度末に6年生から引き継いだバトン。卒業式でしっかりと受け取りますと宣言したとおり、よく働いてくれました。最高学年としてこれから1年間、全校をリードしてくれることが期待できるうれしい姿でした。

今年も、わくわく・ドキドキ、笑顔いっぱいの善部小学校を目指していきます。

万葉集から採用したという「令和」。本校創立41年目は令和元年ということになりました。「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められているとのこと。「平成」の時と同じように、はじめはピンときませんでしたが、意味を聞くとよい元号だと思ふ気持ちが膨らんできました。「四季折々の美しい自然の中で、春の訪れを告げる梅の花のように、一人ひとりが、明日への希望と共にそれぞれの花を大きく咲かせることができる。」という話を聞き、本校の教育活動でも「令和」の時代にふさわしく、「自然にふれ、あたたかい人々にふれ、新たな知識に喜び、出会いに感謝しながら、一人ひとりの個性を輝かせることのできる、希望と夢に満ちた日々をしたい」と改めて思いを強くもちました。新たな一步の今年が、美しい一年となりますよう努めて参ります。

登下校時に見守ってくださる安全ボランティアの皆様や保護者の皆様。なにより大事な子どもたちの安全のために毎日ありがとうございます。あたたかいこの町で過ごし、皆様の温かいまなざしと励ましの中で成長していける子どもたちは本当に幸せだと思います。心から感謝申し上げます。今年もどうぞよろしく願いいたします。

最後になりましたが、一日付けの人事異動により11名の教職員が離任し、新たに11名が着任いたしました。これまで同様、教職員一丸となって、保護者の皆様、地域の皆様と連携を深めながら、子どもたちを見守り育てまいりたいと考えております。今年度も変わらぬご支援をよろしく願い申し上げます。 (今月号が平成最後の学校だよりとなりました。ありがとうございました。)